



2018年6月19日 No.6
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2018年夏季闘争推進ニュース

「建交労フェスタ in 北海道」全国360人集う 平和を学び、北海道の魅力に触れ、交流!

6月15日(金)～17日(日)の日程で、「第7回建交労フェスタin北海道」を北海道札幌市内で開催し、全国から360人の仲間が集いました。「1日目」、午後1時半から会場の札幌市教育文化会館でおこなわれ、オープニングイベントの「潮太鼓」で口火をきり、道本部・森國委員長の歓迎のあいさつを受け、映画「標的の島～風(かじ)かたか～」(三上智恵監督)を上映し、沖縄・辺野古基地、高江ヘリパッド建設などをめぐる県民を中心とした反対闘争の姿を学びました。上映後の「三上監督」を招いた講演会では「沖縄」から伝えたいこととして、宮古・石垣における自衛隊基地建設の推進など、米国の軍事戦略に日本全体が組み込まれている



サッポロビール園での夕食交流会の様子

る状況話し、「沖縄の基地問題は戦争推進の国家づくりと表裏一体であり、全国民に迫られた課題である」ことを伝えました。全体の夕食交流会は、市内のサッポロビール園でおこない、楽しく交流しました。

「2日目」、午前中はパークゴルフ大会(八剣山パークゴルフ場)を開催し、全体で25組のグループに分かれ9ホールで競いました。午後からは、「青年部セミナー、小樽市内自由散策、豊平峡ダムトレッキング、アサヒビール工場見学」などのオプションナ



パークゴルフは老いも若きも一緒に楽しめました

ルツアーに各々が参加しました。全体の夕食交流会では、パークゴルフ表彰式、「道本部・江差追分、東日本大震災対策本部・白波五人衆、沖縄県本部・三線と民謡」などの出し物も披露され、大いに盛り上がりました。「3日目」、閉会式では「2日間の記録をまとめたフェスタムービー」を上映し、全参加者の様子を振り返りました。その後、「建交労のこれから」と題して角田委員長から建交労結成20年を迎えるにあたり、組織と運動の特徴や合流前の三単産の歴史をおりまぜながら、改憲阻止や要求闘争の前進を目指し、全国の結集を強化し、組織拡大で頑張ろうと参加者に呼びかけました。参加者の感想・決意表明として4人の仲間が発言。最後に全体で記念撮影をおこない、集会を終えました。北海道本部、実行委員会が奮闘し、送り出して頂いた各組織の協力で大成功しました。ありがとうございました(詳細は雑誌版8月号に掲載)